

京都市林道施設長寿命化計画 (個別施設計画)

計画期間

自：令和 6年4月 1日

至：令和16年3月31日



令和6年3月

京都市 産業観光局

1 基本的事項

(1) 背景・目的

本市では令和6（2024）年3月時点で林道施設である林道橋（林道台帳に記載された橋長4.0m以上の橋りょう）を18橋管理している。そのうち建設後50年を経過した老朽化の進んでいる林道橋は現在全体の6割を超えており、20年後にはすべての林道橋が50年を経過することとなっている（表1）。

また、財務省令「減価償却資産の耐用年数等に関する省令（昭和43年3月31日大蔵省令第15号）」によると橋りょうの耐用年数は60年であるが、既に耐用年数を超えている橋は5橋存在しており、近い将来、大規模補修や架け替えが一時的に集中し、維持管理経費が急増する状況にある。

そこで、本市が管理する林道橋において、適切な時期に点検・診断を行い、その結果により必要な補修や更新、機能強化等の対策を実施するとともに、個別施設ごとの状態や対策の履歴の情報を的確に記録・更新し、次期の効果的かつ効率的な施設の維持管理・更新を実施する持続可能な「メンテナンスサイクル」を構築することで、林道施設に求められる機能を適切に発揮し続けるための長寿命化対策の充実を図る必要がある。

表1 管理する林道橋の種別等

橋種別	鋼橋	3橋（17%）	建設後経過年数別	50年以上	11橋（61%）
	RC橋	15橋（83%）		40～49年	0橋（0%）
橋長別	15m未満	17橋（94%）		30～39年	7橋（39%）
	15m以上	1橋（6%）		20～29年	0橋（0%）

※ただし、林道台帳に記載された橋長4.0m以上の橋りょうに限る。

(2) 計画の位置付け

国において、平成25年11月に決定された「インフラ長寿命化基本計画」（インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議）の中で、各インフラを管理・所管する者が、インフラの維持管理・更新等を着実に推進するための中長期的な取組の方向性を明らかにする「インフラ長寿命化計画（以下「行動計画」という。）及び「個別施設計画」を策定することが求められた。

本計画は、京都市が行動計画として平成27年3月に策定した「京都市公共施設マネジメント基本計画」に定める公共土木施設のうち林道施設の1つである林道橋の個別施設計画として位置付けるものである。

2 対象施設

本計画の対象とする施設は、本市の管理するすべての林道橋とし、詳細は別紙（一覧表）のとおりである。なお、管理する林道橋の損傷状況を定期点検により把握し、健全性※の判定に基づき老朽化対策の必要性及びその緊急性を評価する。

※健全性について

- ・「健全性」とは、表2に示すように、林道施設長寿命化対策マニュアル（平成28年3月林野庁作成）に従い4段階の判定区分とし、林道橋の健全性を表す指標である。
- ・健全性の診断は林道橋1橋単位で行い、部材単位で補修や機能強化の必要性等を評価する点検とは別に、総合的な評価を付けるものとする。

表2 健全性の判定区分

区分		状態
I	健全	道路橋の機能に支障が生じていない状態 (損傷が軽微で、経過観察で問題がない状態)
II	予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
III	早期措置段階	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態 「早期に」とは、5年程度以内には補修等を行う必要がある状態をいう。
IV	緊急措置段階	道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態

3 計画期間

本計画の計画期間は令和6年度から令和15年度の10年間とする。

定期点検における健全性の判定結果を踏まえ、5年程度を目安に本計画の更新を検討することとする。

4 施設の優先度

本計画における施設ごとの優先度は別紙（一覧表）のとおりとし、損傷の程度のほか、交通量、森林施業や代替路線の有無などを考慮して決定する。

5 施設の状態等

対象の林道橋 18 橋を点検した結果、軽微でない損傷が認められた林道橋（健全性Ⅱ、Ⅲ）は 9 橋あり、そのうち早期に修繕等の必要がある林道橋（健全性Ⅲ）は 4 橋で全体の 22% を占める（表3）。

なお、林道橋ごとの詳細な状態については別紙（個票）のとおりである。

表3 林道橋の点検結果（R5点検完了時点）

健全性	I	II	III	IV	合計
林道橋数	9 橋 (50%)	5 橋 (28%)	4 橋 (22%)	0 橋 (0%)	18 橋 (100%)
うちRC橋	8 橋 (44%)	3 橋 (17%)	4 橋 (22%)	0 橋 (0%)	15 橋 (83%)
うち鋼橋	1 橋 (6%)	2 橋 (11%)	0 橋 (0%)	0 橋 (0%)	3 橋 (17%)

6 対策内容と実施時期

「4 施設の優先度」及び「5 施設の状态等」を踏まえ、施設ごとに講じる対策の内容及び実施の時期について別紙（一覧表）のとおり計画する。

実施の時期について、健全性Ⅱの林道橋は、次回の点検時までには健全性Ⅲへと進行しないよう、日常の維持管理の中で予防的な対策の実施に努め、健全性Ⅲの林道橋は、測量設計等の事前準備を行いながら、計画的な修繕に当たることとする。なお、他の林道橋の対策の実施や予算状況を考慮し、柔軟な運用に努める。

7 対策費用

個別施設ごとの対策費用の概算については別紙（一覧表）のとおりとする。なお、この金額は計画改定時点における概算であり、具体の工事発注時における詳細な設計や社会情勢の変化等により、金額に変動が生じる場合がある。

また、修繕に係る測量設計や次回の点検に要する費用は別紙（個票）に実施の時期と概算金額を示す。

個別施設整理番号	一般-1	林道台帳索引番号番号	京市-1	施設管理者	京都市
路線名	久多尾越線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	1号橋
施設の所在地	左京区大原尾越町	起点からの距離	0.5km	建設年度	S44
供用年数	55	種別	RC橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	沢

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4.0m (3.5m)		幅員(車道幅員)	4.8m (4.0m)
	施設の構造等	上部工型式	RC床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	-	塗装使用の有無	無
		支承形式	-	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式		基礎形式	不明	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	林道久多尾越線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和5年11月7日				
	調査結果	損傷は軽微である				
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態			
	劣化原因	-				
長寿命化計画の内容	計画期間	R6~R15				
	内容	経過観察 -				
	実施予定時期	損傷は軽微であるため、次回点検時に変状の確認を行う。				
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、本橋りょうが使用できなくても久多側から進入可能なため			
	対策費用(概算)	-				
管理方法	長寿命化対策として、コンクリート構造物のひびわれ補修工や断面修復工を早期に行うとともに、適正な時期に定期点検を行う。 また、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年	令和15年
対策費用(百万円)										
対策の内容・実施時期					定期点検					定期点検

備 考
定期点検は、開放型林道につき、5年に1回。補修を実施する場合は、前年度に別途、測量設計費用が発生する可能性がある。

個別施設整理番号	一般-2	林道台帳索引番号番号	京市-1	施設管理者	京都市
路線名	久多尾越線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	2号橋
施設の所在地	左京区大原尾越町	起点からの距離	0.8km	建設年度	S45
供用年数	54	種別	RC橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	沢

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	6.0m (5.5m)		幅員(車道幅員)	4.9m (4.0m)
	施設の構造等	上部工型式	RC床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	-	塗装使用の有無	無
		支承形式	-	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式		基礎形式	不明	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	林道久多尾越線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和5年11月7日				
	調査結果	路面の滞水を解消するための排水対策が必要				
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	橋梁の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。			
	劣化原因	経年劣化				
長寿命化計画の内容	計画期間	R6~R15				
	内容	補修 排水管修繕等				
	実施予定時期	他橋梁の優先度や実施時期を考慮して、R09年度に実施する。				
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、本橋りょうが使用できなくても久多側から進入可能なため			
	対策費用(概算)	約0.5百万円				
管理方法	長寿命化対策として、コンクリート構造物のひびわれ補修工や断面修復工を早期に行うとともに、適正な時期に定期点検を行う。 また、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年	令和15年
対策費用(百万円)				0.5						
対策の内容・実施時期				補修	定期点検					定期点検

備 考
定期点検は、開放型林道につき、5年に1回。補修を実施する場合は、前年度に別途、測量設計費用が発生する可能性がある。

個別施設整理番号	一般-3	林道台帳索引番号番号	京市-1	施設管理者	京都市
路線名	久多尾越線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	3号橋
施設の所在地	左京区大原尾越町	起点からの距離	1.0km	建設年度	S45
供用年数	54	種別	RC橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	沢

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	7.8m (7.3m)		幅員(車道幅員)	4.9m (4.1m)
	施設の構造等	上部工型式	RC床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	-	塗装使用の有無	無
		支承形式	-	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式		基礎形式	不明	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	林道久多尾越線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和5年11月17日				
	調査結果	損傷は軽微である				
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態			
	劣化原因	-				
長寿命化計画の内容	計画期間	R6~R15				
	内容	経過観察 -				
	実施予定時期	損傷は軽微であるため、次回点検時に変状の確認を行う。				
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、本橋りょうが使用できなくても久多側から進入可能なため			
	対策費用(概算)	-				
管理方法	長寿命化対策として、コンクリート構造物のひびわれ補修工や断面修復工を早期に行うとともに、適正な時期に定期点検を行う。 また、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年	令和15年
対策費用(百万円)										
対策の内容・実施時期					定期点検					定期点検

備 考										
定期点検は、開放型林道につき、5年に1回。補修を実施する場合は、前年度に別途、測量設計費用が発生する可能性がある。										

個別施設整理番号	一般-4	林道台帳索引番号番号	京市-1	施設管理者	京都市
路線名	久多尾越線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	4号橋
施設の所在地	左京区大原尾越町	起点からの距離	1.5km	建設年度	S45
供用年数	54	種別	RC橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	沢

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	5.0m (4.5m)		幅員(車道幅員)	4.0m (4.1m)
	施設の構造等	上部工型式	RC床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	-	塗装使用の有無	無
		支承形式	-	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式		基礎形式	不明	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	林道久多尾越線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和5年11月7日				
	調査結果	損傷は軽微である				
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態			
	劣化原因	-				
長寿命化計画の内容	計画期間	R6~R15				
	内容	経過観察 -				
	実施予定時期	損傷は軽微であるため、次回点検時に変状の確認を行う。				
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、本橋りょうが使用できなくても久多側から進入可能なため			
	対策費用(概算)	-				
管理方法	長寿命化対策として、コンクリート構造物のひびわれ補修工や断面修復工を早期に行うとともに、適正な時期に定期点検を行う。 また、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年	令和15年
対策費用(百万円)										
対策の内容・実施時期					定期点検					定期点検

備 考
定期点検は、開放型林道につき、5年に1回。補修を実施する場合は、前年度に別途、測量設計費用が発生する可能性がある。

個別施設整理番号	一般-5	林道台帳索引番号番号	京北-47	施設管理者	京都市
路線名	八丁線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	5号橋
施設の所在地	右京区京北上弓削町八丁山	起点からの距離	1.5km	建設年度	S44
供用年数	55	種別	RC橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	14t	橋下条件	八丁山水40

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4.0m (3.6m)		幅員(車道幅員)	4.4m (4.0m)
	施設の構造等	上部工型式	RC床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	-	塗装使用の有無	無
		支承形式	-	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	林道八丁線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和5年11月24日				
	調査結果	鉄筋露出が大きいため、補修が必要				
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	橋梁の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。			
	劣化原因	経年劣化				
長寿命化計画の内容	計画期間	R6~R15				
	内容	補修 断面修復工等				
	実施予定時期	他橋梁の優先度や実施時期を考慮して、R08年度に実施する。				
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、本橋りょうが使用できなくても南丹市側から進入可能なため			
	対策費用(概算)	約0.7百万円				
管理方法	長寿命化対策として、コンクリート構造物のひびわれ補修工や断面修復工を早期に行うとともに、適正な時期に定期点検を行う。 また、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年	令和15年
対策費用(百万円)			0.7							
対策の内容・実施時期			補修		定期点検					定期点検

備 考										
定期点検は、50年以上経過した橋梁につき、5年に1回。補修を実施する場合は、前年度に別途、測量設計費用が発生する可能性がある。										

個別施設整理番号	一般-6	林道台帳索引番号番号	京北-47	施設管理者	京都市
路線名	八丁線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	6号橋
施設の所在地	右京区京北上弓削町八丁山	起点からの距離	1.5km	建設年度	S28
供用年数	71	種別	RC橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	14t	橋下条件	向足谷川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	5.0m (4.0m)		幅員(車道幅員)	6.4m (6.0m)
	施設の構造等	上部工型式	RC床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	-	塗装使用の有無	無
		支承形式	-	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	林道八丁線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和5年11月24日				
	調査結果	鉄筋露出が大きいため、補修が必要				
	健全性の診断結果	Ⅲ (早期措置段階)	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。			
	劣化原因	経年劣化				
長寿命化計画の内容	計画期間	R6~R15				
	内容	補修 断面修復工等				
	実施予定時期	他橋梁の優先度や実施時期を考慮して、R14年度に実施する。				
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、本橋りょうが使用できなくても南丹市側から進入可能なため			
	対策費用(概算)	約8.百万円				
管理方法	長寿命化対策として、コンクリート構造物のひびわれ補修工や断面修復工を早期に行うとともに、適正な時期に定期点検を行う。 また、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年	令和15年
対策費用(百万円)									8.0	
対策の内容・実施時期					定期点検				補修	定期点検

備 考										
定期点検は、50年以上経過した橋梁につき、5年に1回。補修を実施する場合は、前年度に別途、測量設計費用が発生する可能性がある。										

個別施設整理番号	一般-7	林道台帳索引番号番号	京北-47	施設管理者	京都市
路線名	八丁線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	7号橋
施設の所在地	右京区京北上弓削町八丁山	起点からの距離	1.6km	建設年度	S28
供用年数	71	種別	RC橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	14t	橋下条件	八丁山水42

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	5.0m (4.3m)		幅員(車道幅員)	4.8m (4.4m)
	施設の構造等	上部工型式	RC床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	-	塗装使用の有無	無
		支承形式	-	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	林道八丁線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和5年11月24日				
	調査結果	損傷は軽微である				
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態			
	劣化原因	-				
長寿命化計画の内容	計画期間	R6~R15				
	内容	経過観察 -				
	実施予定時期	損傷は軽微であるため、次回点検時に変状の確認を行う。				
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、本橋りょうが使用できなくても南丹市側から進入可能なため			
	対策費用(概算)	-				
管理方法	長寿命化対策として、コンクリート構造物のひびわれ補修工や断面修復工を早期に行うとともに、適正な時期に定期点検を行う。 また、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年	令和15年
対策費用(百万円)										
対策の内容・実施時期					定期点検					定期点検

備 考										
定期点検は、50年以上経過した橋梁につき、5年に1回。補修を実施する場合は、前年度に別途、測量設計費用が発生する可能性がある。										

個別施設整理番号	一般-8	林道台帳索引番号番号	京北-47	施設管理者	京都市
路線名	八丁線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	8号橋
施設の所在地	右京区京北上弓削町八丁山	起点からの距離	1.9km	建設年度	S28
供用年数	71	種別	RC橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	14t	橋下条件	八丁山水35

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4.3m (4.2m)		幅員(車道幅員)	5.4m (5.0m)
	施設の構造等	上部工型式	RC床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	-	塗装使用の有無	無
		支承形式	-	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	林道八丁線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和5年11月24日				
	調査結果	鉄筋露出が大きいため、補修が必要				
	健全性の診断結果	Ⅲ (早期措置段階)	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。			
	劣化原因	経年劣化				
長寿命化計画の内容	計画期間	R6~R15				
	内容	補修 断面修復工等				
	実施予定時期	他橋梁の優先度や実施時期を考慮して、R09年度に実施する。				
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、本橋りょうが使用できなくても南丹市側から進入可能なため			
	対策費用(概算)	約8.百万円				
管理方法	長寿命化対策として、コンクリート構造物のひびわれ補修工や断面修復工を早期に行うとともに、適正な時期に定期点検を行う。 また、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年	令和15年
対策費用(百万円)				8.0						
対策の内容・実施時期				補修	定期点検					定期点検

備 考										
定期点検は、50年以上経過した橋梁につき、5年に1回。補修を実施する場合は、前年度に別途、測量設計費用が発生する可能性がある。										

個別施設整理番号	一般-9	林道台帳索引番号番号	京北-47	施設管理者	京都市
路線名	八丁線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	9号橋(富里谷橋)
施設の所在地	右京区京北上弓削町八丁山	起点からの距離	2.5km	建設年度	S29
供用年数	70	種別	RC橋	型式	T桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	14t	橋下条件	富里谷川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	9.5m (8.5m)		幅員(車道幅員)	5.3m (4.7m)
	施設の構造等	上部工型式	RCT桁			
			鋼製(使用鋼材)	-	塗装使用の有無	無
		支承形式	-	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式		基礎形式	不明	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	林道八丁線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和5年11月24日				
	調査結果	コンクリート部材の断面修復が早期に必要(R4.2.25、調査業務の結果、コンクリート強度が不足により架け換えが必要と判断)				
	健全性の診断結果	Ⅲ (早期措置段階)	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。			
	劣化原因	排水管からの伝え水、伸縮装置からの漏水が原因と考えられる。				
長寿命化計画の内容	計画期間	R6~R15				
	内容	更新 RC床版橋				
	実施予定時期	他橋梁の優先度や実施時期を考慮して、R11~R12年度に実施する。				
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、本橋りょうが使用できなくても南丹市側から進入可能なため			
	対策費用(概算)	約48.百万円				
管理方法	長寿命化対策として、コンクリート構造物のひびわれ補修工や断面修復工を早期に行うとともに、適正な時期に定期点検を行う。 また、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年	令和15年
対策費用(百万円)						48.0				
対策の内容・実施時期					定期点検	更新				定期点検

備 考
定期点検は、50年以上経過した橋梁につき、5年に1回。補修を実施する場合は、前年度に別途、測量設計費用が発生する可能性がある。

個別施設整理番号	一般-10	林道台帳索引番号番号	京北-47	施設管理者	京都市
路線名	八丁線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	10号橋(八丁橋)
施設の所在地	右京区京北上弓削町八丁山	起点からの距離	2.9km	建設年度	S29
供用年数	70	種別	RC橋	型式	T桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	14t	橋下条件	向足谷川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	10.6m(9.6m)		幅員(車道幅員)	5.1m(4.5m)
	施設の構造等	上部工型式	RCT桁			
			鋼製(使用鋼材)	-	塗装使用の有無	無
		支承形式	-	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式		基礎形式	不明	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	林道八丁線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。					
施設の状態等の概要	点検診断日	平成30年12月13日				
	調査結果	コンクリート部材の断面修復が早期に必要(R4.2.25、調査業務の結果、コンクリート強度が不足により架け換えが必要と判断)				
	健全性の診断結果	Ⅲ (早期措置段階)	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。			
	劣化原因	床版張出部、排水管からの伝え水が原因と考えられる。				
長寿命化計画の内容	計画期間	R6~R15				
	内容	更新 RC床版橋				
	実施予定時期	他橋梁の優先度や実施時期を考慮して、R05~R07年度に実施する。				
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、本橋りょうが使用できなくても南丹市側から進入可能なため			
	対策費用(概算)	約82.百万円				
管理方法	長寿命化対策として、コンクリート構造物のひびわれ補修工や断面修復工を早期に行うとともに、適正な時期に定期点検を行う。 また、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年	令和15年
対策費用(百万円)	82(R5~)									
対策の内容・実施時期	更新				定期点検					定期点検

備 考										
定期点検は、50年以上経過した橋梁につき、5年に1回。補修を実施する場合は、前年度に別途、測量設計費用が発生する可能性がある。										

個別施設整理番号	一般-12	林道台帳索引番号番号	京北-103	施設管理者	京都市
路線名	宇治宇治谷線	林道種類及び区分	自動車道3級	橋梁名	1号橋
施設の所在地	右京区京北細野町宇治宇治谷西平	起点からの距離	0.8km	建設年度	S62
供用年数	37	種別	RC橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	14t	橋下条件	田尻谷川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	8.0m (7.0m)		幅員(車道幅員)	3.4m (3.0m)
	施設の構造等	上部工型式	RC床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	-	塗装使用の有無	無
		支承形式	-	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	林道宇治宇治谷線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。また、当該林道は災害時等の迂回路や近隣地域を結ぶ生活道としての機能も有しており、地域住民の利用もみられる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和5年12月6日				
	調査結果	橋台及び側壁について補修が必要				
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	橋梁の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。			
	劣化原因	経年劣化				
長寿命化計画の内容	計画期間	R6~R15				
	内容	補修 根固め工等				
	実施予定時期	他橋梁の優先度や実施時期を考慮して、R07年度に実施する。				
	施設の優先度	中	(優先度の考え方) 交通量が少ないが、一般車の通行もわずかにあるため。			
	対策費用(概算)	約1.5百万円				
管理方法	長寿命化対策として、コンクリート構造物のひびわれ補修工や断面修復工を早期に行うとともに、適正な時期に定期点検を行う。 また、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年	令和15年
対策費用(百万円)		1.5								
対策の内容・実施時期		補修			定期点検					定期点検

備 考
定期点検は、開放型林道につき、5年に1回。補修を実施する場合は、前年度に別途、測量設計費用が発生する可能性がある。

個別施設整理番号	一般-13	林道台帳索引番号番号	京北-103	施設管理者	京都市
路線名	宇治宇治谷線	林道種類及び区分	自動車道3級	橋梁名	2号橋
施設の所在地	右京区京北細野町宇治宇治谷西平	起点からの距離	0.0km	建設年度	S62
供用年数	37	種別	RC橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	14t	橋下条件	田尻谷川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	5.5m (4.3m)		幅員(車道幅員)	3.4m (3.0m)
	施設の構造等	上部工型式	RC床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	-	塗装使用の有無	無
		支承形式	-	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	林道宇治宇治谷線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。また、当該林道は災害時等の迂回路や近隣地域を結ぶ生活道としての機能も有しており、地域住民の利用もみられる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和5年12月6日				
	調査結果	損傷は軽微である				
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態			
	劣化原因	-				
長寿命化計画の内容	計画期間	R6~R15				
	内容	経過観察 -				
	実施予定時期	損傷は軽微であるため、次回点検時に変状の確認を行う。				
	施設の優先度	中	(優先度の考え方) 交通量が少なく、本橋りょうが使用できなくても南丹市側から進入可能なため			
	対策費用(概算)	-				
管理方法	長寿命化対策として、コンクリート構造物のひびわれ補修工や断面修復工を早期に行うとともに、適正な時期に定期点検を行う。 また、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年	令和15年
対策費用(百万円)										
対策の内容・実施時期					定期点検					定期点検

備 考
定期点検は、開放型林道につき、5年に1回。補修を実施する場合は、前年度に別途、測量設計費用が発生する可能性がある。

個別施設整理番号	一般-14	林道台帳索引番号番号	広域-2	施設管理者	京都市
路線名	深見大布施線	林道種類及び区分	自動車道1級	橋梁名	花脊橋
施設の所在地	左京区花脊大布施町	起点からの距離	0.3km	建設年度	S62
供用年数	37	種別	鋼橋	型式	RC床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	湯船谷川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	10.0m (8.5m)		幅員(車道幅員)	6.4m (5.6m)
	施設の構造等	上部工型式	鋼H桁			
			鋼製(使用鋼材)	H桁鋼	塗装使用の有無	無
		支承形式	鋼製支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式		基礎形式	不明	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	林道深見大布施線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。また、当該林道は災害時等の迂回路や近隣地域を結ぶ生活道としての機能も有しており、地域住民の利用もみられる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和5年12月1日				
	調査結果	排水管の修復・塗装が必要				
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	橋梁の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。			
	劣化原因	橋台縦壁の漏水は伸縮装置からの漏水が原因。排水管の排水不良は排水樹上の舗装が原因と考えられる。				
長寿命化計画の内容	計画期間	R6~R15				
	内容	補修 排水管修繕等				
	実施予定時期	他橋梁の優先度や実施時期を考慮して、R09年度に実施する。				
	施設の優先度	中	(優先度の考え方) 交通量が少なく、本橋りょうが使用できなくても複数の入口があるため。			
	対策費用(概算)	約0.3百万円				
管理方法	長寿命化対策として、コンクリート構造物のひびわれ補修工や断面修復工を早期に行うとともに、適正な時期に定期点検を行う。 また、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年	令和15年
対策費用(百万円)				0.3						
対策の内容・実施時期				補修	定期点検					定期点検

備 考										
定期点検は、一般利用される橋りょうにつき、5年に1回。補修を実施する場合は、前年度に別途、測量設計費用が発生する可能性がある。										

個別施設整理番号	一般-15	林道台帳索引番号番号	広域-2	施設管理者	京都市
路線名	深見大布施線	林道種類及び区分	自動車道1級	橋梁名	花脊橋2号
施設の所在地	左京区花脊大布施町	起点からの距離	0.9km	建設年度	S63
供用年数	36	種別	RC橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	湯船谷川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	7.5m (6.1m)		幅員(車道幅員)	5.8m (5.0m)
	施設の構造等	上部工型式	RC床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	-	塗装使用の有無	無
		支承形式	-	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	林道深見大布施線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。					
施設の状態等の概要	点検診断日	平成30年12月3日				
	調査結果	損傷は軽微である				
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態			
	劣化原因	-				
長寿命化計画の内容	計画期間	R6~R15				
	内容	経過観察 -				
	実施予定時期	損傷は軽微であるため、次回点検時に変状の確認を行う。				
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、本橋りょうが使用できなくても複数の入口があるため。			
	対策費用(概算)	-				
管理方法	長寿命化対策として、コンクリート構造物のひびわれ補修工や断面修復工を早期に行うとともに、適正な時期に定期点検を行う。 また、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年	令和15年
対策費用(百万円)										
対策の内容・実施時期					定期点検					

備 考
定期点検は、閉鎖型林道につき、10年に1回。補修を実施する場合は、前年度に別途、測量設計費用が発生する可能性がある。

個別施設整理番号	一般-16	林道台帳索引番号番号	広域-2	施設管理者	京都市
路線名	深見大布施線	林道種類及び区分	自動車道1級	橋梁名	花脊橋3号
施設の所在地	左京区花脊大布施町	起点からの距離	1.3km	建設年度	H1
供用年数	35	種別	RC橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	湯船谷川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	7.5m (6.1m)		幅員(車道幅員)	5.8m (5.0m)
	施設の構造等	上部工型式	RC床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	-	塗装使用の有無	無
		支承形式	-	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	林道深見大布施線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。					
施設の状態等の概要	点検診断日	平成30年12月3日				
	調査結果	損傷は軽微である				
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態			
	劣化原因	-				
長寿命化計画の内容	計画期間	R6~R15				
	内容	経過観察 -				
	実施予定時期	損傷は軽微であるため、次回点検時に変状の確認を行う。				
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、本橋りょうが使用できなくても複数の入口があるため。			
	対策費用(概算)	-				
管理方法	長寿命化対策として、コンクリート構造物のひびわれ補修工や断面修復工を早期に行うとともに、適正な時期に定期点検を行う。 また、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年	令和15年
対策費用(百万円)										
対策の内容・実施時期					定期点検					

備 考										
定期点検は、閉鎖型林道につき、10年に1回。補修を実施する場合は、前年度に別途、測量設計費用が発生する可能性がある。										

個別施設整理番号	一般-17	林道台帳索引番号番号	広域-2	施設管理者	京都市
路線名	深見大布施線	林道種類及び区分	自動車道1級	橋梁名	深見橋
施設の所在地	右京区京北上弓削町西丁子谷	起点からの距離	0.7km	建設年度	S62
供用年数	37	種別	鋼橋	型式	RC床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	弓削川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	11.2m (10.0m)		幅員(車道幅員)	7.8m (7.0m)
	施設の構造等	上部工型式	鋼H桁			
			鋼製(使用鋼材)	H桁鋼	塗装使用の有無	無
		支承形式	鋼製支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式		基礎形式	不明	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	林道深見大布施線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和5年11月24日				
	調査結果	損傷は軽微である				
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態			
	劣化原因	-				
長寿命化計画の内容	計画期間	R6~R15				
	内容	経過観察 -				
	実施予定時期	損傷は軽微であるため、次回点検時に変状の確認を行う。				
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、本橋りょうが使用できなくても複数の入口があるため。			
	対策費用(概算)	-				
管理方法	長寿命化対策として、コンクリート構造物のひびわれ補修工や断面修復工を早期に行うとともに、適正な時期に定期点検を行う。 また、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年	令和15年
対策費用(百万円)										
対策の内容・実施時期					定期点検					

備 考
定期点検は、閉鎖型林道につき、10年に1回。補修を実施する場合は、前年度に別途、測量設計費用が発生する可能性がある。

個別施設整理番号	一般-18	林道台帳索引番号番号	京北-102	施設管理者	京都市
路線名	余野周山線	林道種類及び区分	自動車道3級	橋梁名	3号橋
施設の所在地	右京区京北周山町北河原	起点からの距離	2.2km	建設年度	S47
供用年数	52	種別	RC橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	14t	橋下条件	河原谷川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	6.0m (5.2m)		幅員(車道幅員)	3.6m (3.3m)
	施設の構造等	上部工型式	RC床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	-	塗装使用の有無	無
		支承形式	-	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	林道余野周山線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。また、当該林道は災害時等の迂回路や近隣地域を結ぶ生活道としての機能も有しており、地域住民の利用もみられる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和5年12月6日				
	調査結果	損傷は軽微である				
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態			
	劣化原因	-				
長寿命化計画の内容	計画期間	R6~R15				
	内容	経過観察 -				
	実施予定時期	損傷は軽微であるため、次回点検時に変状の確認を行う。				
	施設の優先度	高	(優先度の考え方) 集落間林道として、一般の交通があるため			
	対策費用(概算)	-				
管理方法	長寿命化対策として、コンクリート構造物のひびわれ補修工や断面修復工を早期に行うとともに、適正な時期に定期点検を行う。 また、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年	令和15年
対策費用(百万円)										
対策の内容・実施時期					定期点検					定期点検

備 考
定期点検は、開放型林道につき、5年に1回。補修を実施する場合は、前年度に別途、測量設計費用が発生する可能性がある。

個別施設整理番号	予防-1	林道台帳索引番号番号	京森-177	施設管理者	京都市
路線名	八柵左岸(交流の森)	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	1号橋
施設の所在地	左京区花脊八柵町	起点からの距離	0.4km	建設年度	S63
供用年数	36	種別	鋼橋	型式	RC床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	桂川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	60.0m (29.1m × 2)		幅員(車道幅員)	5.2m (4.0m)
	施設の構造等	上部工型式	鋼I桁			
			鋼製(使用鋼材)	I桁鋼(SM50YA・B)	塗装使用の有無	無
		支承形式	鋼製支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式		基礎形式	不明	
橋脚工型式	張出し式		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	林道八柵左岸(交流の森)の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。また、当該林道は災害時等の迂回路や近隣地域を結ぶ生活道としての機能も有しており、地域住民の利用もみられる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和5年10月31日				
	調査結果	胸壁や伸縮装置の補修が必要。				
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	橋梁の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。			
	劣化原因	経年劣化				
長寿命化計画の内容	計画期間	R6~R15				
	内容	補修 断面修復工等				
	実施予定時期	他橋梁の優先度や実施時期を考慮して、R06年度に実施する。				
	施設の優先度	高	(優先度の考え方) 山村都市交流の森に繋がる唯一の橋りょうであるため			
	対策費用(概算)	約0.5百万円				
管理方法	長寿命化対策として、コンクリート構造物のひびわれ補修工や断面修復工を早期に行うとともに、適正な時期に定期点検を行う。 また、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年	令和15年
対策費用(百万円)	0.5									
対策の内容・実施時期	補修				定期点検					定期点検

備考										
定期点検は、開放型林道につき、5年に1回。補修を実施する場合は、前年度に別途、測量設計費用が発生する可能性がある。										